

「自分でできるヘルスケア」の情報を お届けするのも薬局の役割です



ヘルス・グラフィックマガジン
最新号「きず・やけど」特集

AISEI HEALTHCARE PROMOTIONの
一環として、小学校へ無料配布を行いました！



洋光台第二小学校の児童の皆さんも
真剣に読んでくれました。

「AISEI HEALTHCARE PROMOTION」第二弾「「きず・やけど」手当の新常識」実施中

アイセイ薬局では、継続的な予防医療啓発キャンペーン「AISEI HEALTHCARE PROMOTION (アイセイ ヘルスケア プロモーション)」を、本年4月に開始しました。これは、プロモーションのテーマ (疾病や症状) を、当社が編集・発行する季刊の健康情報誌「ヘルス・グラフィックマガジン」と連動させ、季節ごとにテーマを変えながら継続的に行うキャンペーンです。具体的には、“情報” “もの” “コンサルティング” を、当社の薬局店舗においてワンストップで提供するとともに、それらの施策の相乗効果を求めていくものとなっています。

第一弾として4月～6月に行ったキャンペーンのテーマは「ロコモ*」でした。まだまだ、浸透していない概念であることから「盛り上がらないのでは？」との心配もありました。ところが意外にも、ヘルス・グラフィックマガジンで行った読者アンケートでは多数のポジティブなコメントをいただきました。また、店舗で行ったロコモ度チェックのイベントや物販企画も好調。結果的に、多くの店舗において“情報” (健康情報誌やデジタルサイネージによる)、“もの” (テーマを合わせた物販企画による提案・提供) が、来局者と薬剤師の“コミュニケーション” (コンサルティングにつながる) を生み出す効果ははっきりと見られ、第一弾の活動としては、まずまずの成果といったところです。さて、7月～9月に行っているキャンペーンのタイトルは、人々が活動的になる季節に合わせて“「きず・やけど」手当の新常識」としました。ヘルス・グラフィックマガジンの「きず・やけど」号の薬局内設置は7月17日。同日、全国289店舗 (アイセイ薬局店舗の82%) で「きず・やけど」をテーマとした物販や、薬剤師による予防や対策などの啓発活動も始まりました。今回、ヘルス・グラフィックマガジンでは、従来、信じられていた常識を大きく覆す「きず・やけど」を早くきれいに治すための「湿潤療法」を取り上げ詳しく解説しています。これ

は、すでに大きな反響を呼んでおり、「湿潤療法」の手助けをするグッズの販売も好調です。情報の監修にあたった医師、手島玲子先生も「ぜひ、この方法による手当をいつでもできるように、湿潤療法に適した素材の絆創膏は救急箱に入れておいていただきたいと思います。もちろん小学生の息子がいる我が家でも常備しています」と話されています。

「小学生」といえば、今回のキャンペーンでは、ヘルス・グラフィックマガジンの「きず・やけど」号を (通常の配布拠点に加えて) 全国120の小学校においても、合計で約28,000部を配布しました。これは、薬局の社会貢献活動として、今回のキャンペーンと同期させて行ったものです。事前にこの冊子の配布を希望する小学校の募集を行い、応募のあった小学校へ希望する部数を送達し配布していただきました (詳細は本誌2ページでご紹介します)。今回のヘルス・グラフィックマガジンでは、小学校の低学年児童でも興味を持って、かつ理解しやすいように編集を工夫してみました。こうして配布された冊子をご家族皆さまで楽しくご覧いただけたとすれば幸いです。そして、こうした活動を通して“新常識”が、いつしか次世代の“常識”になっていくような活動も行っていきたいと考えます。



※ロコモ:ロコモティブシンドロームの略称。運動器症候群ともいう。加齢に伴う筋力の低下や関節・脊椎の病気、骨粗しょう症などにより、運動器の機能が衰えて、要介護や寝たきり状態になったり、そのリスクが高い状態を指す。

物販企画「ヘルスケアショップ」設置例
(アイセイ薬局 九段南店)

ヘルス・グラフィックマガジンで、薬局から健康情報を発信

通常の配布拠点に加えて小学校120校、キャンプ場などでも配布

一部の小学校では、当社薬剤師がヘルス・グラフィックマガジンを配布

アイセイ薬局は7月17日、自社で編集・発行する健康情報誌ヘルス・グラフィックマガジン Vol.30「きず・やけど」号を発行しました。ヘルス・グラフィックマガジンは毎号ひとつの症状にフォーカスし、専門医や各分野の専門家による症状や改善方法などの解説を、楽しいビジュアルとともにお届けする無料の季刊健康情報誌です。当社はヘルス・グラフィックマガジンを、現在、全国のアイセイ薬局354店舗（2018年8月1日時点）をはじめとして、医療機関や企業・施設など合計約600拠点で配布しております。今号は「きず・やけど」の応急手当などの最新医療情報を掲載していることから、発行に先立ち社会貢献活動の一環として夏休みを控えた時期に、この冊子の配布を希望する小学校を募集しました。その結果、全国の小学校120校からのご応募をいただき、約28,000部を配布いたしました。その他、株式会社スノーピーク様が運営するキャンプ場5箇所（北海道、新潟県、大阪府、高知県、大分県）、料理道具専門店 釜浅商店様（東京都）からもご協力をいただき、配布させていただいております。また、一部の小学校では、近隣のアイセイ薬局の管理薬剤師が直接児童にヘルス・グラフィックマガジンを配布し、「きず・やけど」の予防と対策を呼びかけました。児童とご家族の活動的な夏休みを少しでもサポートできたら幸いです。こうした活動は、当社が目指している“薬局からの積極的な健康情報発信”という方針に沿うものと考え実施したものです。当社は、今後もこのような健康情報発信を通じて、予防医療啓発に取り組んでまいります。



本郷台店店長 大野香織による
洋光台第二小学校での配布の様子



戸田駅前店店長 川井洋介による
喜沢小学校での配布の様子

釜浅商店様に 設置いただきました！

明治41年創業 浅草合羽橋（東京都）にある料理道具専門店「釜浅商店」様の庖丁フロアに、ヘルス・グラフィックマガジンを設置いただきました。



釜浅商店 庖丁フロア
設置風景

スノーピーク様が運営する キャンプ場に設置いただきました！

以下のキャンプ場に設置いただきました。

スノーピーク 十勝ポロシリキャンプフィールド（北海道帯広市）
スノーピーク Headquarters キャンプフィールド（新潟県三条市）
スノーピーク 箕面 キャンプフィールド（大阪府箕面市）
スノーピーク おちに淀川 キャンプフィールド（高知県高岡郡）
スノーピーク 奥日田 キャンプフィールド（大分県日田市）



スノーピーク 奥日田 キャンプフィールド
設置風景

配布にご協力いただいた小学校の養護教諭（＝保健室の先生）からは、次のようなコメントをいただきました。

- 今年度は、学校保健委員会で「けが予防」の取り組みをしているため、その取り組みの一環として子どもたちの意識を高めることができたいと思いヘルス・グラフィックマガジン無料配布に応募しました。配布されてすぐに興味深そうに読む児童が多くみられたので、全校児童に配布して良かったと改めて感じました。
- 今回のヘルス・グラフィックマガジンの誌面で紹介されている“湿潤療法”を、児童の保護者など多くの皆さまに知っていただきたいと思い応募しました。クリニックで子ども向けの講座も開催されている医師先生の監修ということで、とても分かりやすかったです。9月の“ほけんだより”で、“湿潤療法”についてご紹介したいと思っています。



HGM Vol.30「きず・やけど」号 P.6～P.7
“湿潤療法”について解説

薬局の外側にも目を向けて地域医療に貢献していきたい

喜沢小学校にて広報誌の配布を行った アイセイ薬局戸田駅前店 店長 川井洋介に聞きました！

7月18日、戸田駅前店の近隣の小学校 戸田市立喜沢小学校の児童の皆さんに、ヘルス・グラフィックマガジン「きず・やけど」号を配布させていただきました。夏休み直前ということもあり、「海や山などのレジャーに行きますか？」という質問には、ほとんどの児童が挙手しました。子どもたちが活動的になる夏休みを前に、ヘルス・グラフィックマガジンの配布を通じて、「きず・やけど」の対策や予防を啓発することができて、通常の薬局の業務だけでは経験できない活動ができました。また、先生から、“今度は保護者向けにも話をしたい”という言葉もいただきました。このような活動を通じて、アイセイ薬局の薬剤師としてこれからも地域の皆さまの健康に寄与できたらと思っています。今後も薬局の外側にも目を向け、いろいろな方々に予防医療の大切さを発信し、薬剤師として出来ることを行いながら地域医療に少しでも貢献していけたらと思っています。

医師・薬剤師協働の地域住民向けイベント 「第2回 健康フェスティバル」開催



健康チェック&相談会の様子

てしまクリニック(形成外科・皮膚科)院長 手島玲子氏 講演風景



7月17日からスタートしている予防医療啓発キャンペーンに先立ち「きず・やけど」をテーマに開催

去る7月16日、東京都文京区文京シビックセンター4階シルバーホールで、医師・薬剤師協働の地域住民向けイベント「第2回健康フェスティバル」が開催されました。このイベントは、7月17日からスタートした「きず・やけど」をテーマとした予防医療啓発キャンペーン「AISEI HEALTHCARE PROMOTION」に先立ち、テーマを連動させた講演を含む無料の催しです。当日は、前半に骨密度・血管年齢・肌年齢測定などの「健康チェック&相談会」を実施し、その後講演の部へと移りました。講演の部ではまず、アイセイ薬局 後樂園店店長 萬羽薫美子が、「脱水症」をテーマに、脱水の症状や予防などについて講演しました。そして最後は、「きず・やけど」に関する医師の講演へと続きました。てしまクリニック(形成外科・皮膚科)院長手島玲子氏による「「きず・やけど」手当てこれが新常識!」というタイトルの講演では、「湿潤療法」の基本的な考え方やすり傷・きり傷・やけどをした時の処置の方法を詳しく解説されました。手島氏の講演の中では、「湿潤療法」に適した素材の被覆材などの貼り方の説明もありました。来場者の皆さんは「湿潤療法」について意外な新情報が多くあった様子で、深く頷いたり熱心にメモをとったりしていました。来場者からは、「子どものすり傷・きり傷が絶えないので、いつも心配がありましたが、これからは慌てず落ち着いてきずの手当ができそうです。早速今日学んだ「湿潤療法」を実践しようと思っています」「冬場のあかぎれがひどいため、実際に被覆材の貼り方を学べて大変ためになりました。知り合いにも教えてあげたいと思います。」などの声が聞かれました。

地域の皆さまの健康を支えて一緒に生きていきたい

健康フェスティバルに登壇したアイセイ薬局後樂園店 店長 萬羽薫美子に聞きました!



講演の様子

昨年行った「第1回 健康フェスティバル」では、「地域のかかりつけになりたくて!」と題して、薬剤師・薬局の仕事・役割や患者さまとのかかりつけについてお話をさせていただきました。今年は、一歩踏み込んで、地域の皆さまの役に立つ情報を発信したいと考え、今回は身近にある“水”に着目し、“脱水症”をテーマに選びました。“脱水症”は季節を問わず起こりうるものですが、今回は特に夏に重点を置いて話をすすめていただきました。「日常生活と脱水時の水分補給の違い」「かくれ脱水”を理解し予防に役立てる」「脱水症を見守る周囲の目の重要性」など、限られた時間の中でしたが、出来るだけ詳しくお話いたしました。今回の講演でお伝えした内容を、皆さまが日常生活で役立てていただけたら嬉しいと思います。



会場では、服薬支援グッズの説明も行いました

今、私は薬剤師として「患者さまの生活している地域をよく知る」ことを心がけています。薬局の外側で起こっていることを理解することは、薬局をご利用いただく方との共通認識をつくるうえで重要なことだと思います。薬局で働くことは、地域の皆さまの健康を支え、一緒に生きることだと思っています。「健康フェスティバル」で行われている「健康チェック&相談会」は、いつもは目に見えないものが数値として可視化されるため、来場者に好評です。そういうものを通して、皆さまの毎日の生活に“気づき”があれば嬉しいなと思います。今後の「健康フェスティバル」についてですが、まずは継続していくこと、これが地域貢献の一つとして充実したものになっていけばと考えています。

医師・薬剤師のお仕事体験「こどもクリニック&薬局」開催

職業体験を通じて、子どもたちの将来の夢につながる学びの場を提供



アイセイ薬局は、未就学児・小学生向けの職業体験プログラムを「こどもクリニック&薬局」と称して2011年11月より全国各地で開催しています。このプログラムは、医療の重要性や薬局薬剤師の意義と役割を子どもたちに学んでもらうこと、また、子どもたちのお薬への苦手意識を軽減することを目的としています。プログラムは、白衣を着た子どもたちが医師になって聴診器を使った診察や処方せんの発行を体験する「こどもクリニック」、薬剤師になってお菓子やジュースをお薬に見立てて調剤を体験する「こども薬局」があり、医師と薬剤師の2つのお仕事を体験し学ぶことができます。子どもたちが夏休み中の8月は、下総中山店（千葉県）と烏丸御池店（京都府）で開催いたします。プログラムに参加することで、薬剤師や医療に興味・関心を持ち、将来、医療に携わる仕事を志してくれる子どもたちがいたとしたら私たちの大きな喜びです。アイセイ薬局では、このプログラムが未来を担う子どもたちの成長に寄りし医療への理解を深めてもらえるように今後も積極的に取り組んでまいります。

こども クリニック&薬局



「こどもクリニック&薬局」の前身である「こども薬局」は、その体験のクオリティが評価され、2015年7月には「第9回キッズデザイン賞～未来を担う消費者デザイン部門～」を受賞しました。

こどもクリニック&薬局 開催スケジュール

アイセイ薬局 下総中山店 「こどもクリニック&薬局」

日時 2018年8月19日(日)

1. 10:30～12:30、13:30～15:30 ※最終受付:15:00、所要時間 約40分/人

会場 アイセイ薬局 下総中山店（千葉県船橋市本中山2-10-1ミレニティ中山4F）
JR総武線 下総中山駅 徒歩1分、京成本線 京成中山駅 徒歩4分

アイセイ薬局 烏丸御池店 「こどもクリニック&薬局」

日時 2018年8月26日(日)

2. 10:30～12:30、13:30～15:30 ※最終受付:15:00、所要時間 約40分/人

会場 アイセイ薬局 烏丸御池店（京都府京都市中京区東洞院通り二条下ル瓦之町387-4シンフォニア御池）
京都市営地下鉄 烏丸御池駅 徒歩2分

アイセイ薬局グループの取り組みに関するご質問や取材のご依頼は、下記連絡先にて承っております。

株式会社アイセイ薬局 コーポレート・コミュニケーション部

担当：霜（しも）・飯村（いいむら）

TEL：03-3240-0994 E-mail：koho@aisei.co.jp

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビルディング